

全国安全週間準備期間の取組について 神奈川県労働局長による建設業現場パトロールを実施

～（仮称）横浜市中区北仲通5丁目計画～

神奈川県労働局（局長萩原俊輔）は、全国安全週間準備期間の取組として令和元年6月25日（火）に、県内の建設業者の安全意識を高め、労働災害の防止の徹底を図ることを目的として、建設業現場パトロールを実施しました。パトロールには神奈川県労働局から局長、労働基準部安全課長、横浜南労働基準監督署長ほか全6名と建設業労働災害防止協会神奈川県支部から副支部長ほか全3名が参加しました。

今回パトロールを行ったのは、鹿島建設株式会社が横浜市中区北仲地区に建設中の（仮称）横浜市中区北仲通5丁目計画です。地上58階の高層ビルの建築工事で、進捗率約80パーセント、令和2年春の竣工に向けて、現在は1日約750人の労働者が入場し、主に高層棟の内装工事が行われている段階でした。

パトロールでは、躯体工事や設備、内装工事などのようすを点検しましたが、墜落防止対策、熱中症対策、工事現場における防火対策などに問題はなく、管理状況は良好でした。

躯体の全景



労働局長挨拶



工事関係者へ激励の
メッセージを贈る

パトロールの様子





墜落防止措置が適切に講じられている。

工事概要等の説明



全体講評の様子